

## 『紅白歌合戦と日本人の道標』の関係

みなさん、年末年始工事、ご協力ありがとうございました！  
無事、無事故無災害で乗り越えることができました。感謝です。  
しかし良かったですね～～～！今回の第61回紅白歌合戦！

**「僕がゴルフにかける思い。歌手の皆さんが歌にかける思い。ジャンルは違いますが、その真摯な気持ちは変わらないと思います。より高いレベルを目指し、競い合う同士として、皆さんの歌を聴かせていただきます。紅白歌合戦開幕です！」**

↑このP・ドラッカーのような石川遼君の爽やかな紅白開幕宣言良かったです！

黒船来襲以来、富国強兵をめざし第2次世界大戦で敗れ、経済大国をめざしバブル崩壊、リーマンショックで経済戦争にも敗れ気味、国民に明確な目標が見えないまま失われた20年を過ごしてきた日本国民に一筋の光明が見えてきたのではないのでしょうか？

それは次に競うべきはアメリカやヨーロッパ、中国や韓国ではなく、自分自身であり、目指すべきものは武力や経済力もとられることなく含んでの意識の階層であるということ。

意識資本主義社会が始まっているということ。

石川遼君の真摯さは、日本人の次の時代の生き方を表現してくれていると思います。



さてその遼君の開幕宣言を受けて、歌手の皆さんの歌も素晴らしかったです。  
1番楽しみにしていたのは植村花菜さんの『トイレの神様』でした。テクアもトイレはみんなでこだわっていつも綺麗にしているので、この9分52秒のトイレの歌が大晦日に紅白で全国のお茶の間に流れることにとっても感慨深いものを感じました。

そして花菜さんの瞳のキラキラと綺麗なこと！思わずずっと見惚れてしまいました。

トイレの神様、やはり絶対いると思います！

日本人が競争・結果・成果で心が干からびているときに聴くと心のオアシスになる曲です。



そして今回1番見惚れたのは実は石川さゆりさん！！『天城越え』最高に綺麗でした！！  
作曲家吉岡治さんが昨年亡くなり、その思いを背負いながら歌う姿に**情念**が込められ、**幽玄さ**すら感じました。小林幸子さんは衣装で鶴になりましたが、**石川さゆりさんは存在自体が鶴になってました**。(もう何十回もビデオで確認してるのでこれは本当です！！録画している人はぜひ確認してみてください！)

この曲は2008年にはイチローが打席に入る前に使っていた曲でもあります。  
日本人が何か自分の記録を超えたり、夢を実現させたいときにテーマソングにするといい曲です。

そしてそして1番嬉しかったのはサザンの桑田さんの復活！『それ行けベイビー！！』最高です。

～♪適当に手を抜いていこうな 真面目に好きなようにやんな  
我行く旅の道中は予期せぬことばかり♪～

↑この桑田さんの独特の言い回し、行間に人間的優しさがあふれてます！  
日本人が人生のまさかの坂に直面した時の応援ソングになる曲です。

最後に昨年の坂本龍馬、福山雅治さんの『道標』。これはもう歌詞が最高です。  
日本人が最愛の人との命のバトンタッチをする時に口ずさむ曲です。



平和な世の中が大好きな日本の頑張る国民と紅白歌合戦よ永遠に！！

感謝！羽原篤史



『道標』  
～♪人に出逢い 人を信じ 人にやぶれて  
人を憎み 人を赦し また人を知る  
風に吹かれ 泣いて笑い 生きるこの道  
あなたの笑顔 それは道標  
風に吹かれ 走っています  
あなたがくれた この生命の道を  
わたしは この手が好きです  
ほら あなたによく似ている  
わたしたちを育て 旅立っていった  
あなたの その手が好きです

